

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373200472
事業所名	せんねん村グループホーム矢曹根せんりょう・まんりょう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板を通して地域の情報を入手し、地域の清掃活動や防災訓練等に入居者も一緒に参加している。事業所で行う餅つきや夏祭り等に、地域の参加を呼び掛けたり、事業所での避難訓練には地域の方に避難者の見守りの協力依頼をしたりして地域との繋がりを深めている。公民館での文協展には作品を出展し見に行ったり、保育園や幼稚園児と遊びの交流もしている。ボランティアや中学生の職場体験などの受け入れもしている。吉良祭では出店を受け持ち、職員と共に大学芋等の売り子になって接客を楽しんでいる。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や家族、町内会長、民生委員、介護相談員、包括支援センターや市職員の参加を得て2か月に1回、年6回開催している。事業所の事業内容や行事報告等は動画で分かりやすく説明をしている。併せて、研修報告、テーマに沿った話し合いや地域との情報交換などが行われている。提案や意見は記録され、会議で協議し運営に活かしている。会議の案内や議事録を家族に配布している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 代行申請や更新手続き代行の折に行政担当者に情報交換や指導、助言を得ている。運営推進会議には毎回参加しており、意見やアドバイスをもらっている。また、毎月介護相談員が来所し、入居者や職員とのコミュニケーションを図ったり、事業所の取り組みを伝える機会としている。市や包括支援センターとは機会あるごとにサービスの内容を伝え、協力関係を深めるようにしている。市主催の研修に積極的に参加し、連携を図るように取り組んでいる。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日常のケアの中で把握し業務日誌に記録しその都度検討をし、ケアにつなげるようにしている。家族からは運営推進会議や面会時、行事等の折に意見や要望を聞きながら、何気ない「一言」をキャッチして記録し、情報を共有して運営に反映している。取り組んだ内容については、ホーム新聞「せんりょうまんりょうの実」で知らせている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。
	② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。
	② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。
	② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。
	② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。
	③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎		